

臨時議会

平成28年第3回臨時議会は、10月31日召集されました。

案件の大半は次のとおりです。

契約案件

◆吉野99号線道路改築工事第5号工事
請負契約の締結について (可決)

・契約方法 一般競争入札
・契約金額 50,220,000円
・契約の相手方
株式会社 ダイシン
代表取締役 和田茂樹
(吉野町平尾)

予算案件

◆平成28年度吉野町一般会計補正予算
(案)第3号について (可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ944万8千円を追加し、総額58億473万1千円と定めました。

内容は、観光力向上事業(外国語パンフレット作成・観光客への交通費補助)、災害復旧事業(倒木処理・路肩補修)、林道災害復旧事業(路肩補修)、過年度分過誤納金返還金を増額補正するものです。

条例案件

◆吉野町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正することについて (可決)

次の一般選挙から適用する議員定数が現定数11人から10人に改めました。

町議会産業建設委員会 町内視察

10月31日、産業建設委員会の町誘致企業の視察が行われ、様々な質問や意見が出されました。

◆(株)ハートフルコープよしの事業所



この事業所は、市民生活協同組合ならコープが立ち上げた「吉野共生プロジェクト」のもと、産業振興や一般企業に就職が困難な障がい者への就労機会の提供等、雇用創出を目的に西谷地内に開設され、今年5月から新鹿路トンネル付近の湧水を使った宅配水販売や、耕作放棄地の再生を目指した農産物の集荷・水耕栽培への取り組みなどの事業が行われています。

◆リニューアブルジャパン(株)(建築主 合同会社吉野)吉野町太陽光発電所工事現場

写真は、リニューアブルジャパン株式会社内 合同会社吉野が平成30年の完成を目指し、現在造成のための立木伐採が行われている吉野町太陽光発電所の工事現場で



す。左曾及び吉野山地区に跨がる町有地約38万㎡にソーラーパネル約11万5千枚を設置すること、一般家庭約9、150世帯分の年間電力消費量に相当する約3、195万kWhの年間発電量を見込んでいます。完成すれば現在奈良県下で計画中の太陽光発電所でも最大級の規模を誇ることとなります。



委員会、地球の環境保全や施設設置に伴う税金増加により行政サービスの向上が望めるのは喜ばしい事だが、工事が町民の安心安全な暮らしを脅かす事が無いよう事業者へ対策を講じると共に、町に對しても指導を求めました。

委員会、地球の環境保全や施設設置に伴う税金増加により行政サービスの向上が望めるのは喜ばしい事だが、工事が町民の安心安全な暮らしを脅かす事が無いよう事業者へ対策を講じると共に、町に對しても指導を求めました。

ならコープ、南都銀行と 包括連携協力締結

11月3日、吉野町と(株)南都銀行、市民生活協同組合ならコープが地域活性化を目的に包括連携協力に関する協定を結びました。

吉野町が金融機関、民間の事業者との三者協定を行うのは今回が初めてです。



写真左より市民生活協同組合ならコープ 森理事長、北岡町長、(株)南都銀行 北常務

連携協定では、

(1)地域産業の振興と安定した雇用の創出に資する事業

(2)創業支援および地域経済の活性化に資する事業

(3)地域づくり、地域の活性化および移住・定住促進に資する事業

(4)地方創生の推進に資する事業が主な事業としてあげられています。